


平成26年度 部長マニフェスト まちづくり推進本部長 門倉俊明

部の概要			
所属課と人員 (H26.4.1現在)	国立駅周辺整備課、南部地域整備課	12人	

部の運営方針

まちづくり推進本部は、国立駅周辺まちづくりに関すること、南部地域整備の推進などの業務を行っています。国立のまちづくりを担う部として、市長の目指す「365日24時間安心・安全のまちづくり」の「国立のまちの景観と賑わいをつくる」を重点に、地権者、市民、関係機関等と連携し取り組みます。

国立駅周辺整備では、賑わいを国立駅のみで完結することなく、周辺への回遊性をどう高めていくか、既存の商店会との共存共栄をどのように図っていくのか、他のまちにはない、独自の魅力あるまちづくり、そのまちの顔たる魅力ある駅前周辺整備が必要不可欠です。また、南部地域の整備としては都市基盤整備、住みやすい環境の整備として、城山南地区及び下新田地区の土地区画整理事業への指導・監督を行い事業の推進を図ると共に、国立市町界町名整理に関する基本方針に基づき町名地番整理を進めて参ります。引き続き狭隘道路整備を含めた都市基盤整備を進め市民の生活基盤向上を図ってまいります。

平成26年度の重点項目				
	項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)	達成度
1	国立駅周辺まちづくり整備事業	<p>国立駅周辺の事業については社会資本整備総合交付金を活用して平成27年度から31年度までの5ヶ年で順次整備を行う計画である。平成26年度は交付金申請を行うための条件整備として交通体系に係る交通管理者との協議や国分寺市と連携した高架下利用、南北駅前広場用地の確保など関係機関等との具体的な協議を進め、7月に社会資本整備総合交付金の概算要望、11月には本要望の申請を行う。</p> <p>また、国立市土地開発公社が所有している国立駅南口の公共施設等用地の利活用は、民間資金を活用した複合公共施設整備を予定しており、委託業務として支援を受けながら市の財政事情や整備後の運用面等も考慮して駅周辺に必要な公共施設等を決定する。</p>	<p>・社会資本整備総合交付金の申請に必要な都市再生整備計画を作成し国土交通省に提出した。</p> <p>・国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)を策定した。</p>	B
2	南部地域整備事業	<p>国立市南部地域整備基本計画(案)に基づき、市民へ説明を行い、26年度に基本計画として策定する。</p> <p>南部地域において要望の高い狭隘道路の拡幅整備に向けては、八王子道及び南第33号線にかかる対象地権者と用地買収及び赤道等との交換交渉を行い、道路用地の取得を進める。</p> <p>事業中の城山南地区及び下新田地区の組合運営に対しては適切な指導を行い城山南地区および下新田地区土地区画整理事業の換地処分に合わせて町名地番整理を進める。</p>	<p>・国立市南部地域整備基本計画(案)の市民説明会を開催し、平成26年8月に基本計画を策定した。</p> <p>・八王子道の用地買収に係る協議が整わず1地権者に留まったが、南第33号線については順調に整い道路用地の確保が全て実施できた。</p> <p>・土地区画整理事業における城山南地区は平成26年12月に東京都から解散認可を受け、下新田地区においても解散認可に向け順調に事業が進められている。町名地番整理については、城山南地区を平成26年6月に、下新田地区は11月に施行した。</p>	A